


平成 31 年 2 月 5 日

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第8次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

ふりがな	こんしーでれやまて		
団体名称	コンシーデレ山手		
代表者職名	会 長	ふりがな	やまもと ゆういち
		代表者氏名	山 本 祐 一  ㊞
ふりがな			
団体住所	岡山県久米郡久米南町		
電話番号	090-2007-0606	FAX	086-728-2825
設立年もしくは活動年数	平成27年5月1日		
スタッフ数	有給スタッフ_0_名・無報酬スタッフ_6_名・ボランティア等_14_名		
団体HP(あれば)	https://teruizu.jimdo.com		
FBページ(あれば)	なし		
CANPAN登録	<input type="checkbox"/> なし ・ <input type="checkbox"/> あり (星 っ) 【団体ID: _____】		

※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)

担当者役職名(必須)	会 長	ふりがな	やまもと ゆういち
		担当者氏名	山 本 祐 一
郵送物送付先住所	岡山県久米郡久米南町		
担当者電話番号 (極力携帯番号)		担当者 e-Mail	

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

(事務局記入欄)

事務局記入欄 受付日・受付者		事務局記入欄 CANPAN 登録	有 ・ なし (予定 月 日頃)
-------------------	--	---------------------	------------------

申請事業の内容

事業種類・内容 該当する活動に○をつけてください。	①. 災害支援・復興活動(真備エリア)    2. 災害支援・復興活動(県内各地)
事業名 (もしくは事業概要)	田舎ぐらし体験ツアー「山の上の手作り祭り」
活動(予定)期間	平成 31 年 6 月 1 日    ~    平成 31 年 9 月 30 日
活動(予定)場所	久米南町山手 治部邸 周辺
受益者数	直接受益者 (    約 20    名) 間接受益者 (            0    名) ※いる場合
<b>事業の必要性(背景)と目指すゴール(目指す状況)</b> ・現状や支援対象者の状況(支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入) ・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか ○ 山手地区では、平成27年より移住・定住促進を目的にした「山手夏祭り」を開催している。昨年7月14日の打ち合わせの際「真備の子どもたちを招待できないか」という声が出され、県民局の事業と併せて、資金の不足分は山手住民会より拠出(臨時住民会で決定)するというかたちで、真備町箭田地区まちづくり協議会と連絡をとり、箭田小学校の児童23名を夏祭りに招待することができた。 被災のため、いろいろな面で制約や制限のあった児童たちに、山の上の田舎の夏祭りの準備もしてもらいながらも、2日間をゆったりのんびり過ごしてもらうことで、その後の生活にやる気や元気を出してもらえることを目標にした。一方で、過疎の村である山手地区にとっては、2日間とは言え、地区に子どもたちがあふれる状況に高齢者や住民からは「多くの子どもたちの声に、私たちの方が元気をもらった。」といった声も多く聞かれ、両者にとって有意義な取組であったと考える。 その後、11月には「箭田地区文化祭」に招待され、地域どうしがつながることで、今年度も新たなつながりができることを期待している。	
<b>事業の実施内容</b> ・どのようなことをいつ(回数等)やるのか 平成31年度事業計画	
6月	・今年度の事業計画作成 ・箭田地区「まちづくり協議会」と連絡をとり、実施内容の確認 =箭田地区へ、募集要項を送付
6月末～7月中旬	・児童参加募集(1学期終業式を目途に) ・町役場、関係施設と連絡・調整
7月中旬～8月上旬	・参加児童の保護者と連絡をとり、児童の健康面、生活面の確認 ・久米南町役場と連絡をとり、宿泊準備物や児童の身の回りの準備物等の確認
8月中旬 祭り前日	・箭田小児童迎え、宿泊等準備 ・入浴等、施設見学等、関係施設と連絡・確認 ・児童の活動の支援
祭り当日	・児童の活動の支援 ・児童を箭田地区へ送り
9月～10月ころ	・箭田地区と本年度の活動の反省等について協議

**事業の実施体制**

・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

コンシーデレ山手（本団体）	・全体的な企画、準備（各団体と連絡調整をしながら） ・当日の児童の動きについて、各団体への指示等
箭田まちづくり協議会	・真備町箭田地区の情報や申込のとりまとめを依頼
山手住民会	・児童の食事準備、当日の食事の世話等
リゾートセンター治部邸	・寝具、部屋等の宿泊準備（町と連携しながら）
久米南町役場	・治部邸の備品等の準備
新後継者クラブ	・山手夏祭り当日の出店等運営
山手ぶどう部会	・山手夏祭り会場や施設の準備

**事業実施後の展望**

・助成期間後も活動を継続する場合はその内容や展望  
・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

## ○ 昨年度の取組の中からの声として

- ・災害の跡が目にある落ち着いた環境の中で過ごすことも多い子どもたちにとって、「田舎暮らし体験」は、静かな環境の中で過ごせたのではないかと。（箭田小保護者、まちづくり協議会より）
- ・子どもたちにとって、人に「やってもらう」のではなく、「夏祭りスタッフ」の一員として、山手地区の「祭り作り」を手伝うという主体的な活動をするというスタンスでの活動の中で、山手地区の人々からも「たくさん子どもたちの元気な姿を見ることができてありがたい。」といった感謝の声が多く聞かれた。

- 本団体の本来の目的である「移住・定住促進」といった観点からも、「箭田町づくり協議会」とのつながりは、お互いの町、村の将来（子どもたちにとって、地域住民にとって、郷土の将来を考える）を考えながら、地域の活性化に向けてのさらなる情報交換もできると考える。

**その他**

・その他事業実施にあたり、特に必要なことやPR

- 昨年度の7月14日の実施計画を考える時から、「被災した子どもたちに何かをしてあげる」のではなく、「過疎化が進み、子どもの姿もほとんどない山手地区のイベントのお手伝いをしてもらいたい。」というお願いのスタンスで進めるという山手地域住民会等関係団体の合意のもとで取組を進めてきた。今年度も同じスタンスで、取組を進めていく。

また、予算のねん出等の関係から、単年度の事業として取り組むことになると考えている。

## ○ 添付書類

- ・実施要項、時程表
- ・参加お礼の手紙と通信、感謝状
- ・ポスター

※この用紙に収まらない場合は、別紙企画書など添付ください。ただし、概要についてはこのページ1枚にまとめてください。